

Mizuho Daily Market Report

2026/1/8

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.50	156.76	+0.11	+0.05
EUR	1.1684	1.1675	▲0.0014	▲0.0071
AUD	0.6740	0.6721	▲0.0017	+0.0048
SGD	1.2817	1.2823	+0.0018	▲0.0031
CNY	6.9912	6.9916	+0.0077	+0.0036
MYR	4.0583	4.0582	+0.0110	▲0.0021
THB	31.29	31.28	+0.04	▲0.22
IDR	16781	16775	+25	+85
PHP	59.35	59.37	+0.16	+0.54
INR	89.89	89.89	▲0.29	+0.01
VND	26274	26274	+0	▲24

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.148%	▲2.6 bp	▲1.9 bp
日本(10年)	2.122%	▲1.4 bp	+5.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.812%	▲3.0 bp	▲4.3 bp
オーストラリア(5年)	4.338%	▲1.7 bp	+4.6 bp
シンガポール(5年)	1.862%	▲4.4 bp	+1.8 bp
中国(5年)	1.670%	+2.3 bp	+4.5 bp
マレーシア(5年)	3.253%	+0.3 bp	▲0.1 bp
タイ(5年)	1.272%	+0.7 bp	+7.8 bp
インドネシア(5年)	5.495%	+0.9 bp	▲5.9 bp
フィリピン(5年)	5.742%	▲7.4 bp	▲6.8 bp
インド(5年)	6.338%	▲0.6 bp	+3.0 bp
ベトナム(5年)	3.326%	+7.5 bp	+7.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	48,996.08	▲0.9%	+1.9%
N225(日本)	51,961.98	▲1.1%	+3.2%
STOXX50(ユーロ圏)	5,923.57	▲0.1%	+2.3%
ASX(オーストラリア)	5,417.07	▲0.6%	+1.2%
FTSTI(シンガポール)	4,747.62	+0.2%	+2.2%
SSEC(中国)	4,085.77	+0.1%	+2.9%
SENSEX(インド)	84,961.14	▲0.1%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	8,944.81	+0.1%	+3.4%
KLSE(マレーシア)	1,676.83	+0.3%	▲0.2%
PSE(フィリピン)	6,292.09	▲0.4%	+4.0%
SETI(タイ)	1,280.82	+0.5%	+1.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,861.58	+2.5%	+4.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	300.16	▲0.6%	+0.5%
金	4,456.47	▲0.9%	+3.2%
原油(WTI)	55.99	▲2.0%	+1.1%
銅	12,914.48	▲2.5%	+3.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	154.60	—	158.30
EUR/USD	1.1470	—	1.1800
AUD/USD	0.6385	—	0.6780
USD/SGD	1.2770	—	1.3130
USD/CNY	6.9660	—	7.0440
USD/MYR	4.0350	—	4.0930
USD/THB	30.80	—	32.10
USD/IDR	16400	—	16850
USD/PHP	56.10	—	59.60
USD/INR	89.10	—	91.40
USD/VND	26,100	—	26,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は156円台半ばオープンすると、序盤は156円台後半へ上昇し売買が交錯。午後に入ると、日経平均が下落幅を広げるなかドル円も軟調に推移し、156円台前半レベルで海外へ渡った。アジア通貨はまちまちな動き。フィリピンペソは市場最安値を更新。直近、レモナ比中銀総裁から「為替水準は注視しているが、ペソの市場最安値にはこだわっていない」とのコメントが出てきており、介入に対する警戒感が低下している模様。

欧州時間のドル円は156円台半ばへ小幅に上昇しNYオープンを迎えた。NY市場のドル円は朝方に発表された米12月ADP雇用統計が予想を下回った事を受け、再び156円台前半へ下落。しかし、その後は米金利が上昇する展開を横目に買い戻しが優勢となり、156円台後半へ戻す展開。午後は一時156円台半ばへ小幅反落する場面もあったが、終盤にかけて再度上昇し156円台後半レベルでクローズ。

【金利】

前日の米10年債利回りは低下。NY時間朝方、弱含んだ米12月ADP雇用統計に対しては一旦金利は低下で反応するも、その後売り買い交錯し一時4.16%付近まで反転上昇。その後発表された12月ISM非製造業景況指数サービス指数は強含んだものの、NY時間昼頃に掛けては再び金利は低下する展開となった。結局、米10年債利回りは前日比2.6bp低い4.148%で取引を終えた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日発表されたISM非製造業景況指数は市場予想を上回っただけでなく2024年10月ぶりの高水準に達し、雇用項目も分水嶺となる50台を回復したが、一段のドル円上昇とは至らず。昨日のADP雇用統計が弱含み、明日9日米国時間には12月雇用統計の発表を控えるなか雇用市場に対する警戒感が高まっており、ドル円の上値を狙う動きは想定し難いだろう。

【本日の予定】

(日本) 11月 毎月勤労統計
(日本) 12月 東京オフィスカ率
(日本) 12月 消費者態度指数
(日本) さくらレポート
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 11月 豪 貿易収支
(アジア) 12月 豪 外貨準備高
(アジア) 北朝鮮の金正恩朝鮮労働党総書記誕生日
(欧州) 11月 ユーロ圏 ECB CPI予想(1Y、3Y)
(欧州) 11月 ユーロ圏 PPI / 失業率
(欧州) 11月 仏 経常収支
(欧州) 11月 独 製造業受注
(欧州) 12月 スイス CPI
(欧州) 12月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)
(欧州) 12月 ユーロ圏 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数
(米国) 10月 貿易収支
(米国) 11月 卸売売上高
(米国) 11月 消費者信用残高
(米国) 12月 NY連銀1年インフレ期待
(米国) 12月 チャレンジャー人員削減数
(米国) 3Q 非農業部門労働生産性(速) / 単位人件費(速)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を書面でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。